令和3年度中学校国語科
授業づくり研修会

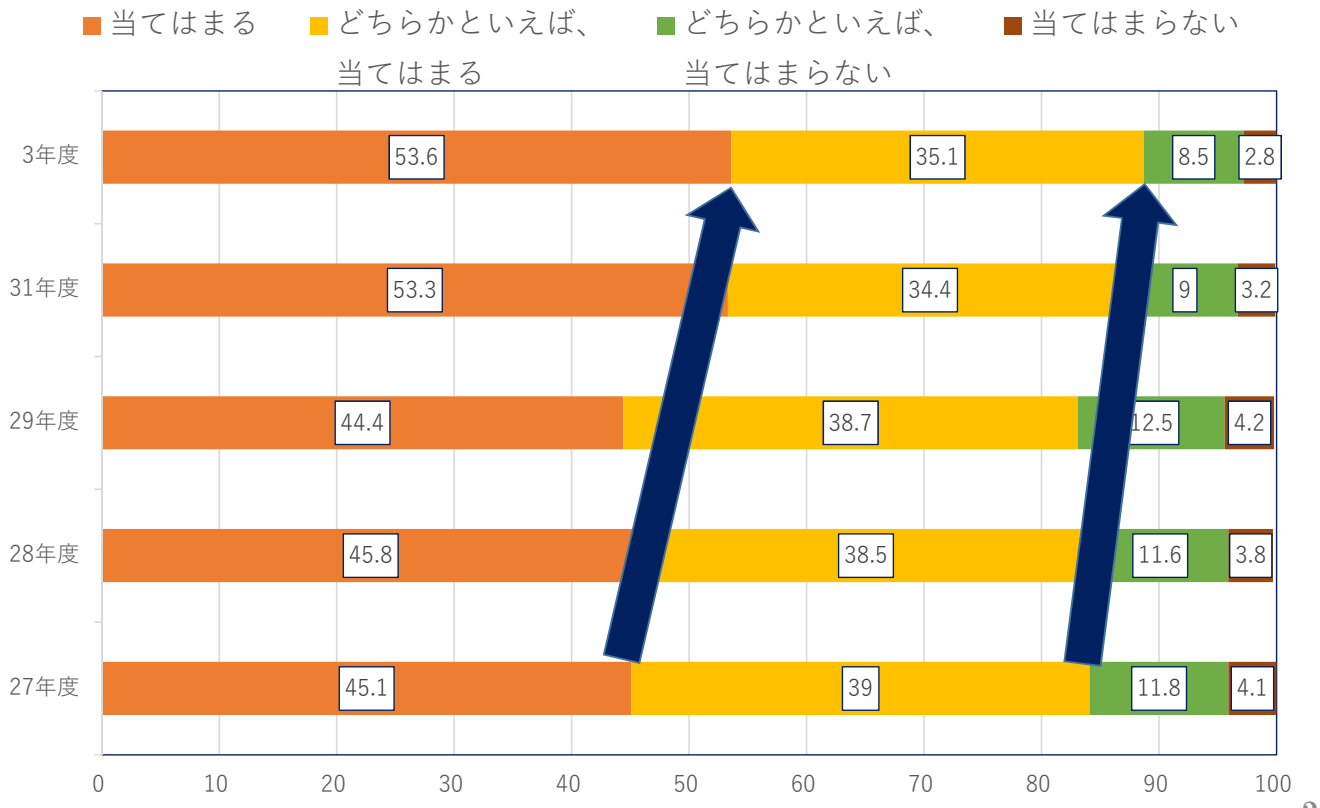
全国学力・学習状況調査結果の現状と課題

始めに

生徒の技能や学力の向上が
見られる授業づくりをしていこう。

全国学力・学習状況調査　生徒質問紙調査結果の推移

(46)国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



国語科における授業づくりについてのチェックポイント

- □　国語科の年間指導計画について、どの時期にどの指導事項を指導するのかを意識して作成している。
- □　全国学力・学習状況調査の結果等を基に、どの指導事項の定着に課題があるのかを明らかにし、指導計画等に反映させている。
- □　それぞれの指導事項を指導するために、効果的な言語活動を設定した授業を構想している。
- □　評価規準を設定している。
- □　評価方法が明らかであり、効率的に評価するための工夫が考えられている。
- □　それぞれの評価規準について、「努力を要する」状況の生徒への手立てが考えられている。

【中学校国語】の調査作成の枠組み

- 学習指導要領に示されている3領域1事項に基づいて、その全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題。
- 過年度の調査結果に見られる課題等も踏まえながら、中学校第2学年までの内容で出題。
- 問題の形式は、**選択式**、**短答式**、**記述式**の3種類。記述式の問題では、複数の考え方、答え方があるものなどについて出題。

選択式・・・６設問
短答式・・・４設問
記述式・・・４設問

令和3年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
65	64.6	+0.4

年度	全国との比較
H25	−1.3
H26	−0.1
H27	−0.1
H28	+0.1
H29	+0.6
H30	+0.9
R1	−2.8
R3	+0.4

番号	徳島	全国	比較	無解答率
1一	90.0	89.7	+0.7	0.2
1二	93.5	92.5	+1.0	0.2
1三	54.0	57.1	−3.1	4.0
2一	26.2	24.8	+1.4	0.2
2二	73.3	74.5	−1.2	9.7
3一	42.6	43.7	−1.1	0.4
3二	59.2	58.7	+0.5	0.4
3三	71.6	71.0	+0.6	8.1
3四	18.9	20.5	−1.6	28.8
4-①	97.4	97.5	−0.1	1.4
4-②	91.2	88.8	+2.4	2.0
4二	75.2	74.0	+1.2	1.4
4三	46.9	40.3	+6.6	1.8
4四	68.0	71.9	−3.9	13.0

令和3年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
65	64.6	＋0.4

番号	徳島	全国	比較	無解答率	
1一	90.0	89.7	＋0.7	0.2	話合いの話題や方向を捉える
1二	93.5	92.5	＋1.0	0.2	質問の意図を捉える
1三	54.0	57.1	−3.1	4.0	話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える
2一	26.2	24.8	＋1.4	0.2	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注目して書く
2二	73.3	74.5	−1.2	9.7	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える
3一	42.6	43.7	−1.1	0.4	文章中における語句の意味を理解する
3二	59.2	58.7	＋0.5	0.4	場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する
3三	71.6	71.0	＋0.6	8.1	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する
3四	18.9	20.5	−1.6	28.8	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考をもつ
4-①	97.4	97.5	−0.1	1.4	文脈に即して漢字を正しく読む
4-②	91.2	88.8	＋2.4	2.0	文脈に即して漢字を正しく読む
4二	75.2	74.0	＋1.2	1.4	事象や行為などを表す多様な語句について理解する
4三	46.9	40.3	＋6.6	1.8	相手や場に応じて敬語を正しく使う
4四	68.0	71.9	−3.9	13.0	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く

成果・課題

○・・・成果　◆・・・課題

話すこと・聞くこと

○　話合いの中で質問の意図を捉えることはできている。

〔1　二〕

○◆　話合いの話題や方向を捉えることはできているが、適切な発言について考えることに課題がある。

〔1　一、三〕

成果・課題

○・・・成果　◆・・・課題

書くこと

○　書いた文章を互いに読み合う場面において、
文章の構成にどのような工夫があるかを捉えることは
できている。　〔2　二〕

◆　推敲する場面において、語句や文の使い方、
段落相互の関係について考えることに課題がある。

〔2　一〕

成果・課題

○・・・成果　◆・・・課題

読むこと

○　文章を読み、登場人物の言動の意味を考え、
内容を理解することはできている。　〔3　三〕

◆　文脈の中における語句の意味を理解したり、
場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、
内容を理解したりすることに課題がある。

〔3　一、二〕

◆　文章に表れているものの見方や考え方を捉え、
自分の考えをもつことに課題がある。〔3　四〕

成果・課題

○・・・成果　　◆・・・課題

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○　文脈に即して漢字を正しく読むことはできている。

〔4　—①、②〕

○　事象や行為などを著す多様な語句について理解することはできている。

〔4　②〕

◆　相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。

〔4　三〕

1　話合いをする（地域清掃活動）

【話し合いの一部】

①
各校の取り組みについて、質疑応答に入ります。今日は、原則として、一つの質問に対する答えが終わってから、次の質問をするようにしてください。地域清掃活動を活性化させるために、他校に聞きたいことはありませんか。
第一中学校 本田さん（司会）

②
第一中学校に質問があります。担当する清掃場所を細かく分ける取り組みに興味をもったのですが、その取り組みで清掃活動はどのように活性化したのですか。
青空中学校 山下さん

③
第一中学校では、清掃場所を細かく分け、担当する場所を自分たちで決めることによって、一人一人が責任をもって活動するようになりました。また、本校は地域の方と合同で清掃活動を行っているのですが、そのための事前打ち合わせに、昨年度は担当場所の代表も参加しました。その結果、地域の方といっそう協力して取り組むことができるようになりました。
第一中学校 石川さん

④
一人一人が責任をもって活動するようになったということですね。また、地域の方との打ち合わせに担当場所の代表が参加したことも、活性化につながったということでした。青空中学校の山下さん、よろしいですか。
第一中学校 本田さん（司会）

⑤
はい、ありがとうございます。青空中学校では、生徒だけで清掃活動を行っていますが、今後は地域の方と合同で行うことも検討してみたいと思います。そこで、もう少し質問したいことがあります。第一中学校では、地域の方との合同の清掃活動をどのような手順で進めているのかを、具体的に教えてもらえますか。
青空中学校 山下さん

⑥
西中学校でも、地域の方との合同の清掃活動を考えたいと思います。また、実施回数も見直そうと思うのですが、回数を増やしたことで生徒たちの取り組み方がどう変わったのかを、青空中学校に質問したいです。
西中学校 大野さん

【資料】

梅山市中学校代表者会議　資料

○　日時　　5月20日（木）15:50～16:30

○　参加者　第一中学校：本田（司会），石川
青空中学校：山下
西中学校　：大野

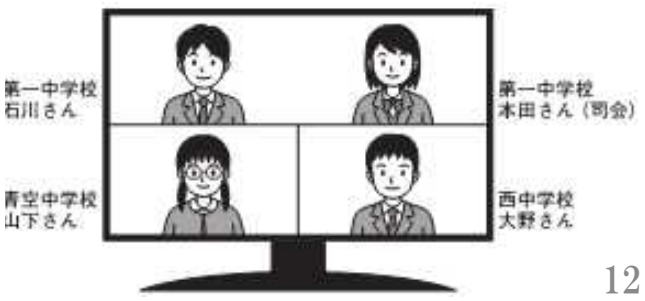
○　目的　　各校での地域清掃活動を活性化するために，昨年度行った取り組みの工夫について情報交換を行う。

○　会議の流れ

〔1〕	会議の目的の説明	（3分）
〔2〕	各校の取り組みの報告	（各校3分）
〔3〕	質疑応答	（25分）
〔4〕	まとめ	（3分）

○　各校の取り組み

学校名	昨年度行った工夫
第一中	担当する清掃場所を細かく分ける。
青空中	実施回数を年1回から3回に増やす。
西中	実施時期を5月から8月に変える。



①　あとの問いに答えなさい。

1　話合いをする（地域清掃活動）

話合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

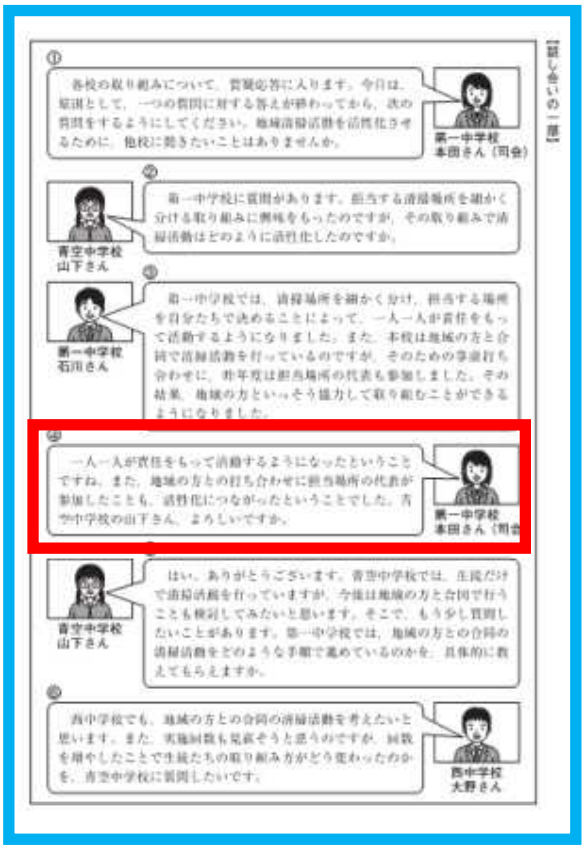
▼〔第一学年〕A　話すこと・聞くこと　オ

1　話合いの方向を転換する役割。

2　参加者の発言の要点を確認する役割。

3　参加者の発言の不足を指摘する役割。

4　話合いの進行の仕方を提案する役割。



1　話合いをする（地域清掃活動）

話合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

▼〔第一学年〕A　話すこと・聞くこと　オ

1　話合いの方向を転換する役割。

★　話合いが停滞したり、議論が偏ったものになったりしている場面。

2　参加者の発言の要点を確認する役割。

★　発言を結び付けたり、結論を導いたりする場面。

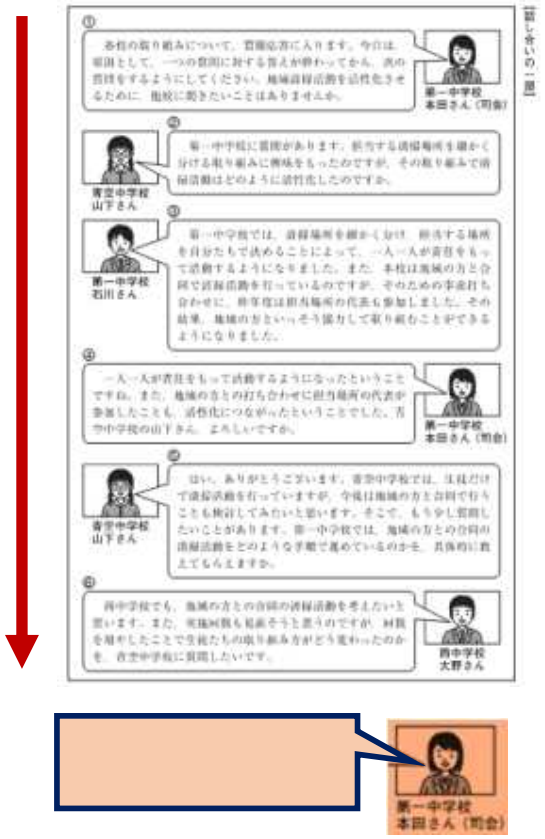
3　参加者の発言の不足を指摘する役割。

★　参加している人の発言に不備があったり、発言に加えた方がよい内容があったりする場面。

4　話合いの進行の仕方を提案する役割。

★　話合いを始めたり、話合いの仕方を修正したりする場面。

1　話合いをする（地域清掃活動）



話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるかどうかをみる。

▼〔第一学年〕A　話すこと・聞くこと　オ

条件1　【話し合いの一部】の①から⑥までのやり取りを踏まえ、どのようなことについて発言をすればよいのかを書くこと。

条件2　条件1のように考えた理由を具体的に書くこと。

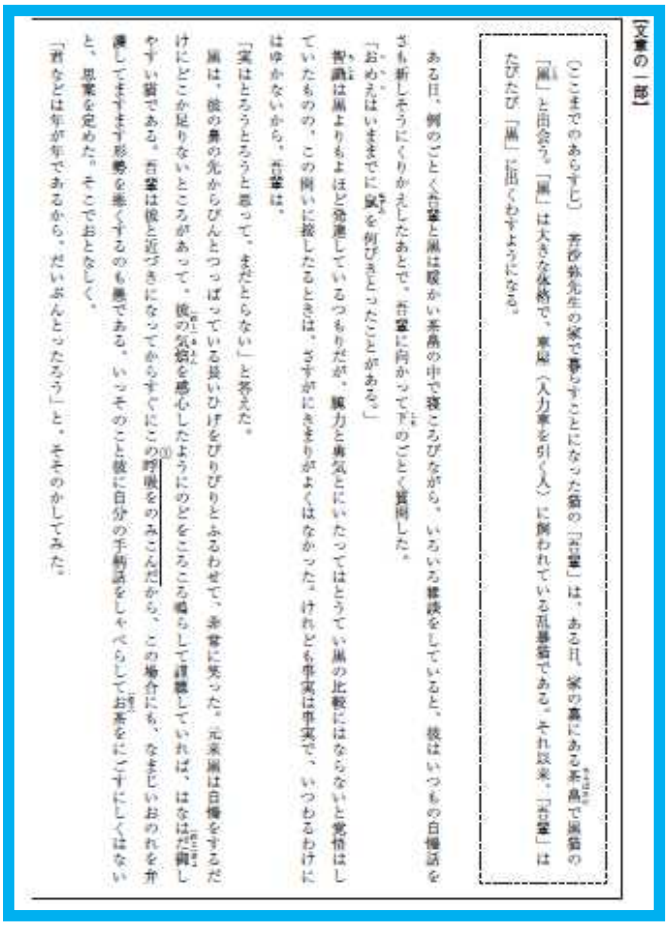
学習指導に当たって

話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることに課題。

何についてどのような目的で話し合っているかといった、目指してる到達点を常に意識するように指導することが大切。

その際、多くの発言によって考えを広げていく段階や出された発言の内容を整理しながら考えをまとめる段階など、話合いにおけるいずれかの段階においても、話題を意識しながらその経過を捉えて話したり聞いたりするように指導することが重要。

③　あとの問いに答えなさい。



四　【紹介】に～線部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1　【文章の一部】から「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるかを書くこと。

条件2　条件1のような「吾輩」の接し方についてあなたの考えを具体的に書くこと。

実際の言語活動においては、具体的な叙述に基づいて自分の考えをもつように指導することが大切。その上で、互いの考えを交流することで、作品の受け止め方がより豊かなものになる。

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

▼〔第一学年〕C　読むこと　オ

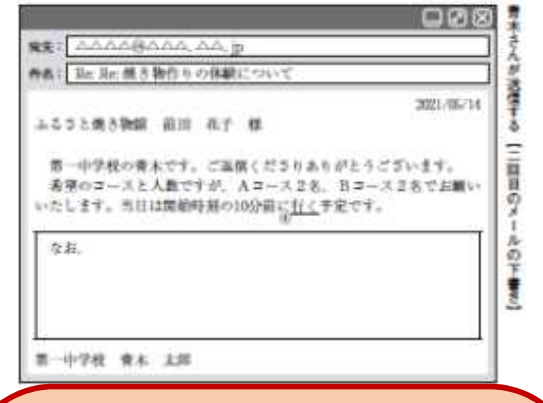
学習指導に当たって

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題。

「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするように指導する必要がある。

その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにするように指導することが大切。

4　電子メールを書く（焼き物作りの体験）



青木さんが送信する【一回目のメールの下書き】

宛先：△△△△@△△△.△△.jp
件名：Re: Re: 焼き物作りの体験について

2021/05/14

ふるさと焼き物館　前田　花子　様

第一中学校の青木です。ご返信くださりありがとうございます。
希望のコースと人数ですが、Aコース2名、Bコース2名でお願いいたします。当日は開館時刻の10分前に行く予定です。

なお、

第一中学校　青木　太郎

青木さんが送信した【一回目のメール】

宛先：△△△△@△△△.△△.jp
件名：焼き物作りの体験について

2021/05/12

ふるさと焼き物館　御中

初めてメールを差し上げます。
第一中学校3年の青木太郎と申します。
私たちは、今、学校の授業で地元の伝統工芸である焼き物について学んでいます。地元の土や製法には、他の焼き物にはない特徴があることにとても興味をもっています。調べていく中で、ふるさと焼き物館で焼き物作りの体験ができることを知り、地元の焼き物についての理解を深めるためにも、実際に作ってみたいと考えました。
できましたら、6月16日（水）の午後に4名で体験したいのですが、まだ受け付けているコースがあれば教えてください。
よろしくお願いいたします。

第一中学校　青木　太郎

【担当者からの返信メール】

宛先：△△△△@△△△.△△.jp
件名：Re: 焼き物作りの体験について

2021/05/13

第一中学校　青木　太郎　様

ふるさと焼き物館の前田です。焼き物に興味をもってくださり大変うれしく思います。ご希望の6月16日（水）の午後は、以下のコースの受付が可能です。
（Aコース）粘土を伸ばして板状にし、皿を作ります。
（Bコース）ろくろ台（回転台）を用いて花瓶を作ります。
ご希望のコースとそれぞれの参加人数が決まりましたら、メールでお知らせください。どちらのコースも14時から開始しますので、遅れないようにいらっしゃってください。
なお、地元の土や製法の特徴については、当日ご説明しますが、他にも知りたいことがありましたら、体験中に随時お尋ねになってください。
ご連絡をお待ちしております。

ふるさと焼き物館　前田　花子

焼き物作りの体験について、担当者と電子メールのやり取りをするという場面で求められることの例。
・文脈に即して漢字を正しく読むこと。
・事象や行為などを表す多様な語句について理解すること。
・相手や場に応じて敬語を適切に使うこと。
・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと。

④　あとの問いに答えなさい。

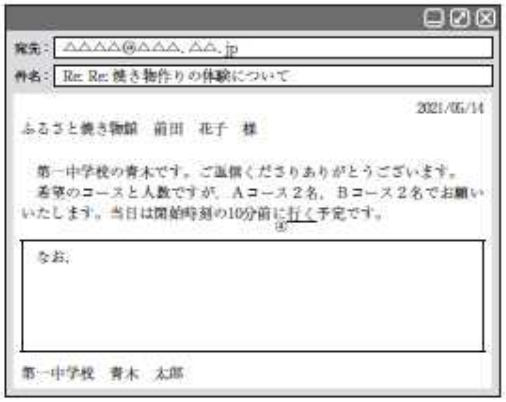
4　電子メールを書く（焼き物作りの体験）

相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるかどうかをみる。

▼〔第一学年〕伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（1）イ（ア）

ここでは、総合的な学習の時間における学習で、焼き物作りの体験について問い合わせている場面であることを踏まえ、「行く」を適切な敬語に書き直すことを求めている。

「行く」という動詞の謙譲語は、「伺う」、「参る」。



（解答類型１）35・3％

・（行く）伺う（敬語の種類）２

・（行く）参る（敬語の種類）２

（解答類型２）5・6％

・（行く）行かせていただく（敬語の種類）２

3　ー線部③「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類を次のーから3までの中から一つ選びなさい。

ー　尊敬語　　2　謙譲語　　3　丁寧語

学習指導に当たって

相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題。

小学校での学習を踏まえ、敬語を含め広く相手や場に応じた言葉遣い全般について指導する必要がある。

その際、公的な場面で改まった言葉遣いをすることのほか、会話をしたり手紙を書いたりする際に相手に応じた語句を選んで用いることなどにも留意するように指導することが大切。

指導改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

○　話合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて、考えをまとめたり広げたり深めたりする指導の工夫

・ 話合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて、考えをまとめたり広げたり深めたりする力を身に付けるために、〔思考力・判断力・表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」の「話すこと」に関する指導事項と、「聞くこと」に関する指導事項との関連を図って指導する必要がある。例えば、各学年の(2)イに示されているような目的に沿って、互いの考えを伝え合ったり生かし合ったりする話合いや議論、討論などの言語活動を通して指導することが効果的である。具体的には、第1学年では、話題や展開を捉えながら、第2学年では、互いの立場や考えを尊重しながら、第3学年では、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合うことなどについて、生徒の実態を踏まえながら意図的・計画的に指導を重ねることが大切である。その際、これまでの「A話すこと・聞くこと」の学習で身に付けた資質・能力を、実際の言語活動の中で活用しながら話し合うように指導することが重要である。

指導改善のポイント

【書くこと】

○　読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導の工夫

・ 読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える力を身に付けるために、第1学年では、表記や語句の用法、叙述の仕方などを、第2学年では、表現の効果などを、第3学年では、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめることについて指導する必要がある。

その際、第1学年〔知識及び技能〕(1)エの「指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。」との関連を図ることや、第2学年〔知識及び技能〕(1)オの「話や文章の構成や展開について理解を深めること。」との関連を図ることなどの有効である。

指導改善のポイント

【読むこと】

○　文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導の工夫

・ 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする力を身に付けるために，〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の学習過程を意識しながら、各指導事項について意図的・計画的に指導する必要がある。例えば、各学年の(2)イに示されているような、文学的な文章を読んで考えたことなどを記録したり伝え合ったりする言語活動を通して指導することが効果的である。

また、各学年の〔知識及び技能〕(3)の「読書」に関する事項との関連を図り、生徒の日常の読書活動に結び付くように指導することも有効である。

指導改善のポイント

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

○　敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う指導の工夫

・　敬語などの相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切に使う力を身に付けるために、小学校での学習を踏まえ、敬語に関する個々の体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語のもつ働きを理解するように指導する必要がある。また、話や文章の中で、相手や場に応じた語句を選んでいることに留意するように指導することも大切である。その際、各学年の〔思考力・判断力・表現力等〕の「B書くこと」の(2)イに示されているような、実用的な文章を書く言語活動との関連を図ることも有効である。

国語科における授業づくりについてのチェックポイント

□　国語科の年間指導計画について、どの時期にどの指導事項を指導するのかを意識して作成している。

□　全国学力・学習状況調査の結果等を基に、どの指導事項の定着に課題があるのかを明らかにし、指導計画等に反映させている。

□　それぞれの指導事項を指導するために、効果的な言語活動を設定した授業を構想している。

□　評価規準を設定している。

□　評価方法が明らかであり、効率的に評価するための工夫が考えられている。

□　それぞれの評価規準について、「努力を要する」状況の生徒への手立てが考えられている。

結びに　「授業づくりの視点」

- 知的な楽しさがある学習活動になっているか。
- 発問や指示は効果的であるか。
- 時間配分は適切か。
- 説明は効果的か。
- 板書は効果的か。
- 教材・教具・ＩＣＴ機器の使用は効果的か。
- 教師の知識・技能に誤りはないか。
- 授業の後、生徒の技能や学力の向上が見られたか。

結びに　「授業づくりの視点」

- ペア学習やグループ学習に意図があったか。
- 机間指導に意図があったか。
- 全体発表に意図があったか。
- 生徒が教え合い、刺激し合う仕掛けがあったか。
- しつけるべきことに妥協がないか。
- 全員の生徒を見られるように観察しているか。
- 生徒の発言、行動、つぶやきに対応しているか。
- 教師が生徒から学ぼうとしているか。
- 生徒が教師を受け入れ、授業を成功させようとしているか。

生徒の技能や学力の向上が見られる授業づくりをしていこう。

学力向上確認プリントの活用

徳島県総合教育センターホームページ

①トップページの左のバナー
「まなびのサポート」をクリック

②家庭学習用プリントの
バナーをクリック

③学力向上確認プリント
の該当学年をクリック

授業改善資料　国語力向上タスクフォースからの提案

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが，言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより，すべての学習の基盤となる国語力を高め，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図りましょう。

https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/

授業改善資料　国語力向上タスクフォースからの提案の掲載場所

①徳島県立総合教育センター
トップページの「教職員支援・学校支援」
をクリック

②画面下の方
「県学力向上関係資料」をクリック

③画面下の方
「授業改善関係資料」をクリック

https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/　アドレスの入力も可

学力向上確認プリントの活用

徳島県総合教育センターホームページ

①トップページの左のバナー
「まなびのサポート」をクリック

②家庭学習用プリント
のバナーをクリック

③学力向上確認プリントの該
当学年をクリック